

特集

1

救急医療の
リベラルアーツ

救急医ルートの 多様性と現実解

[前 編]

歳をとったら救急医なんて続けられないのでは？

救急医なんて臨床だけやっていて疲れないのか？

いずれも答えはNoである。救急医には、実に多様なキャリアパスがある。それぞれの働き方で、救急医を続けることができる。

本特集では大学院や、開業、国際貢献など、バラエティーに富んだキャリアの選択肢と、それを実際に叶えるための効果的な手段を紹介する。なかでも今回は「前編」として、種類の異なる大学院を選んだ4名の方に執筆いただいた。

救急医だからこそそのキャリアパスがある。本特集が、皆さまの将来を照らす灯台となれますように。

企画編集

佐藤 信宏

新潟市民病院 救急科

本特集の構成

